

現地への国職員・専門家の緊急輸送訓練(1日目)

資料6

実施要領	原子力防災を担当する内閣府副大臣、内閣府幹部等を現地に派遣するに当たり、関係省庁が連携し、輸送手段及び輸送経路を調整した上で、緊急輸送を実施する。
参加機関	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、文部科学省、経済産業省、国土交通省、気象庁、環境省、原子力規制委員会、防衛省、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 等



PAZ内施設敷地緊急事態要避難者の避難等実施訓練(1日目)

実施概要	施設敷地緊急事態発生時の通報を受け、PAZ内の施設敷地緊急事態要避難者について、津波災害の状況等を踏まえ、避難先の調整、輸送手段の確保等を行い、避難等を実施する。
参加機関	北海道、泊村、共和町、一般社団法人北海道バス協会、関係社会福祉施設 等

※無理に避難すると健康リスクが高まる要配慮者の避難先



【泊村】
むつみ荘(放射線防護施設)



【共和町】
みのりの里(放射線防護施設)

訓練実施項目

施設敷地緊急事態における防護措置の実施方針に基づくPAZ内要配慮者の避難等

- ① 避難等の要請の伝達、住民への広報
- ② 避難先の調整、輸送手段の確保等
- ③ 安定ヨウ素剤の配布
- ④ 避難の実施
- ⑤ 避難先の準備 等



原子力災害医療訓練(1日目)

実施概要	泊発電所構内における被ばくを伴う傷病者に対する汚染除去及び拡大防止等の応急措置及び医療機関への搬送に係る関係機関との連携した救助・医療活動訓練を実施する。
参加機関	北海道電力株式会社、岩内・寿都地方消防組合消防本部、札幌医科大学、弘前大学等

The map shows the PAZ area (marked with a red circle and 'PAZ') and the surrounding region. A green circle indicates the 'UPZ' (Upper Plume Zone). A blue dashed line shows the training route from the PAZ area towards Sapporo. Key locations marked include '弘前大学 (専門家派遣)' (Hiroshima University, expert dispatch) and '札幌医科大' (Sapporo Medical University). Icons represent '陸路搬送' (road transport) and 'ヘリ空輸 (防災ヘリ)' (helicopter transport).

訓練実施項目
①搬送手順の確認
②汚染検査及び除染手順の確認
③医療応急処置
④傷病者の被ばく線量の評価
⑤専門家の派遣要請及び派遣(弘前大)

ヘリテレ等伝送システムによる情報収集訓練(1・2日目)

実施概要	現地の活動状況について、ヘリテレ等映像を各関係機関に伝送し、国及び地方公共団体間で情報共有を実施する。
参加機関	北海道警察、海上保安庁、陸上自衛隊

The map illustrates the 'リアルタイムでの情報共有' (Real-time information sharing) system. It shows the PAZ area and the 'オフサイトセンター' (Off-site center). Key locations for information sharing include '北海道庁' (Hokkaido Prefecture), '自衛隊北部方面総監部' (Northern District Command), and '官邸・ERCへ' (Prime Minister's Office/ERC). Video transmission points are labeled: '沿岸部及び原発周辺の映像配信' (Coastal area and nuclear power plant area video distribution) involving '海保船舶' (Maritime Guard ship) and '陸自ヘリ' (Self-defense force helicopter); '原発周辺及び被災状況等の映像配信' (Nuclear power plant area and disaster status video distribution) involving '道警ヘリ' (Police helicopter); and '被災状況及び道路状況等の映像配信' (Disaster status and road status video distribution). A note at the bottom left states: '※ 情報収集範囲はイメージです' (※ Information collection range is an image).

PAZ内住民の避難等実施訓練(2日目)

実施概要	原子力緊急事態宣言後、原子力災害対策本部からの避難指示を受け、PAZ内の一般住民について、津波災害の状況等を踏まえ、避難先の調整、輸送手段の確保等を行うとともに、安定ヨウ素剤の服用を行った上で避難等を実施する。
参加機関	北海道、泊村、共和町、一般社団法人北海道バス協会 等

訓練実施項目

全面緊急事態における防護措置の実施方針に基づくPAZ内住民の避難等

- ① 避難等の要請の伝達、住民への広報
- ② 避難先の調整、輸送手段の確保等
- ③ 安定ヨウ素剤の配布等
- ④ 避難の実施
- ⑤ 避難先の準備 等

【泊村避難先】
アパホテル&リゾート<札幌>
(札幌市)

【共和町避難先】
ルスツリゾート(留寿都村)

緊急時モニタリング実施訓練(1・2日目)

実施概要	緊急時モニタリング実施計画の立案や意思決定に係る訓練を行うとともに、関係機関及び原子力事業者と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング訓練を行う。
参加機関	内閣府、原子力規制委員会、防衛省、北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村、原子力事業者(北海道電力株式会社)、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

訓練実施項目

- ① 緊急時モニタリングセンターの設置及び運営
- ② 緊急時モニタリングセンター要員等の派遣
- ③ モニタリングポスト等のデータ収集
- ④ 可搬型モニタリングポストの設置
- ⑤ 環境試料(水、土壌等)の採取
- ⑥ モニタリングカーによる走行サーベイの実施
- ⑦ 航空機モニタリングに係る関係機関との連絡調整等

緊急時モニタリングセンター
(オフサイトセンター内等)

航空機モニタリングに係る
関係機関との連絡調整

モニタリングカーによる
走行サーベイの実施

UPZ内の一部住民一時移転実施訓練(2日目)

実施概要	OIL2の事態発生に伴い、UPZ内で屋内退避中の一部住民のUPZ外への一時的移転を実施するとともに、各機関への情報伝達及び一時移転住民へのヨウ素剤の緊急配布を実施する。この際、泊発電所から30km圏近傍に避難退域時検査所を設置し、一時移転に伴う人員及び車両の検査並びに簡易除染を実施する。
参加機関	北海道、岩内町、神恵内村、積丹町、古平町、陸上自衛隊、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、一般社団法人北海道バス協会、関係医療機関、北海道電力株式会社 等

